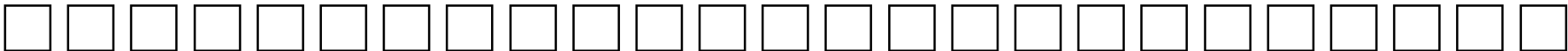


令和 2 年度南国市教育委員会の
事務点検・自己評価シート



令和 3 年 9 月
南国市教育委員会

○自己点検の見方について

教育委員会にとって注目すべき課題を見つけつつ評価をしていくという趣旨で、「小項目」について3段階又は4段階のマトリックスで評価を行いました。

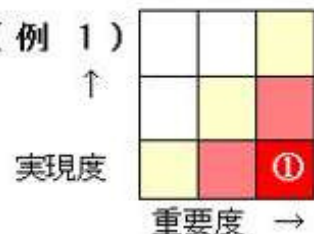
マトリックス評価の例を下に示していますが、「教育委員会の活動及び管理・執行する事務」については（例1）のとおり、「重要度」（横軸）と「実現度」（縦軸）の3段階のマトリックス自己点検を行っています。

また、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の項目では、南国市事務事業評価に則って（例2）のとおり「重要度」（横軸）と「成果度」（縦軸）の4段階のマトリックス自己点検を行っています。

①は、「重要だが、実現度が低いもの」であり、②は、「重要だが、成果度が低いもの」であり、ともに「特に注目する課題」ととらえることができます。（色の濃いセルほど注目する課題といえます。）

なお、例3に示しているとおり、必要に応じて「内容・点検」欄に事業内容や特記事項等を記入しています。

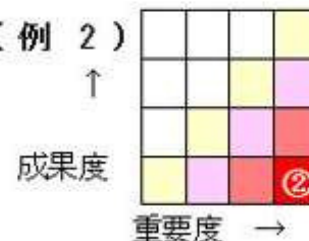
（例1）



実現度：3段階（「実現できた」、「やや実現できた」、「実現できなかった」）

重要度：3段階（「重要」、「やや重要」、「やや重要でない」）

（例2）



成果度：4段階（「成果は高い」、「成果はやや高い」、「成果はやや低い」、「成果は低い」）

重要度：4段階（「重要度は高い」、「重要度はやや高い」、「重要度はやや低い」、「重要度は低い」）

（例3）

高齢者教室事業	成果度 ↑				<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○65歳以上の南国市民を対象に教室生として公募し、市内8教室で年10回ずつ開催している。 ○健康教室や歴史教室・環境問題・交通安全など、様々な学習をしている。移動教室等、高齢者にとって 楽しみや生きがいとなっている。 ○令和2年度は、8教室で合計494名の学級生がいる。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教室において学級長・会計等の役職を置くことにより、一定自主運営ができ市と連携を通した活動が可能となっている。
		●	○		
	→ 重要度				

【上記マトリックス自己点検箇所の「●」と「○」について】

「●」は教育委員会自己点検時の自己評価。「○」は事務点検・評価委員よりいただいた評価。

1 教育委員会の活動

中項目	小項目	実現度 ↑ →重要度	内容・点検												
(1) 教育委員会の 会議の運営改善	①教育委員会会議の 開催回数	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○定例会を10回開催した。(令和3年1月10日現在)</p> <p>○臨時会を1回(8/4)開催した。(令和3年1月10日現在)</p>
				●											
②教育委員会会議の 運営上の工夫	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○議案・資料を事前に確認し、積極的な意見交換を行った。</p>	
			●												
(2) 教育委員会と 事務局との連携	○教育委員会と 事務局との連携	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○定例教育委員会での情報・意見交換会の他、適宜情報伝達を行った。</p>
			●												
(3) 教育委員の 自己研鑽	○研修会への参加状況	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○土長南国市町村教育委員会連合会の主催する研修会(11/13 視察:本山町立本山小学校)に参加し、教育事情に関する情報収集を行った。7/3 第1回教育委員研修会(講師:奈良薬師寺副執事長 大谷 徹装氏)はコロナ感染症防止のため中止となり、2/5 定期総会及び第2回教育委員研修会(講師:埼玉県立越谷市立新方小学校 校長 田畑 栄一氏)の講演も中止となった。</p> <p>○高知県市町村教育委員会連合会及び県教育委員会の主催する研修会(1/15 新任市町村教育委員・教育長合同研修会 講師:高知県教育委員会、学校業務改善アドバイザー 合同会社ライフ&ワーク代表 NPOまちと学校のみらい 理事 妹尾 昌俊氏)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。初任の教育委員対象の研修も中止となった。</p>
			●												

(4) 学校及び教育施設 に対する支援 ・条件整備	①学校訪問等	実 現 度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> </table> →重要度						●	○教育委員による管内保育所（園）・幼稚園 及び小中学校の訪問期間：5月12日（火）～6月9日（火） 【訪問内容】 ・所長・園長・学校長の学校経営方針（主に学力向上・生徒指導）の確認及び授業参観による教職員ならびに幼児・児童生徒の実態把握等。 →本年度臨時休業もあり、一律中止とした。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら運動会・文化祭・研究発表会等に参加し、教職員ならびに幼児・児童生徒の実態把握や、保育所（園）・幼稚園・学校の取組の成果や課題の把握に努めた。
		●							
②所管施設の訪問等	実 現 度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> </table> →重要度						●	○南国市立保育所並びに南国市内保育園の訪問を例年通り行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のために中止となった。 ○南国市立スポーツセンター等の所管施設で開催される各種行事等に参加するとともに、施設の状況や利用状況について確認を行った。	
		●							

2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目		内容・点検
(1) 委員会の行政重点目標の設定と実施に関すること	実現度 ↑ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> →重要度	○年度当初に教育行政方針を決定し、所属長会にて全施設長・学校長へ方針及び趣旨を伝え、その後全教職員等への周知徹底を図るよう全施設長・学校長へ依頼した。
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	実現度 ↑ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> →重要度	○南国市ふれあい教室の施設移転に伴い、令和2年2月より、名称も「南国市教育支援センターふれあい」と変更となったが、その他も含め本年度は特になし。
(3) 教科用図書の採択方針に関すること	実現度 ↑ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> →重要度	○本年度は令和3年度以降に使用する公立中学校教科用図書の採択を行った。 (8/4に、南国地区教科用図書教育委員会採択会議を開催し、採択)
(4) 研究員及び内地留学生の選考に関すること	実現度 ↑ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> →重要度	○南国市立教育研究所に専任主事1名(久礼田小より)を、市教委の研究方針と照らし検討、人選し、新たに配置した。 ○教職員育成のための内地留学生3名(高知大学教職大学院へ)、鳴門教育大学2名を派遣した。
(5) 事務局及び学校その他の教育機関の職員の 任免その他の人事に関すること	実現度 ↑ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> →重要度	○南国市立小中学校主任の承認(4月)。 ○特別支援教育支援員21名を小中学校14校に配置した。 ○ICT支援員2名を小学校2校(奈路小学校・久礼田小学校)に配置した。 ○学校図書館支援員8名を小中学校14校に配置した。 ○南国市学力課題対応アドバイザー(小学校:国語・中学校:数学)2名を学校に配置した。 ○合理的配慮コーディネーター1名を長岡小・鷺ヶ池中に、医療的ケア・コーディネーター3名を大篠小・日章小に配置した。

<p>(6) 教職員の異動方針に関すること</p>	<p>実現度 ↑ →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			●							<p>○高知県教育委員会の異動方針に基づき、学力向上及び特色ある学校づくりに向けた人材配置に努めた。 ○令和3年度の各校の教員人事について、各学校長とヒアリングを実施し、学校長の意向を尊重した人事を検討した。</p>
		●									
<p>(7) 学校その他の教育施設の長期にわたる 目的外使用に関すること</p>	<p>実現度 ↑ →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	●									<p>○設置対象者：高知大学教育研究部自然科学系理学部門。 ○設置場所：南国市立三和小学校 校舎屋上 ○設置機器：超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKA ○令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○レーダーの雨量評価検証や、豪雨や突風などが発生する際の気象状況の把握のため</p>
●											
<p>(8) 委員会の附属機関の委員の任免に関すること</p>	<p>実現度 ↑ →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			●							<p>○南国市文化財審議委員会委員の委嘱・任命（4月委嘱・任命 任期2年） ○南国市立図書館協議会委員の委嘱（4月委嘱 任期2年） ○南国市奨学金奨学生選考委員会委員の委嘱・任命（4月委嘱・任命 任期2年） ○南国市立三和公民館長の委嘱（4月委嘱 任期2年） ○南国市社会教育委員の委嘱・任命（5月委嘱・任命 任期2年） ○南国市少年育成センター補導委員の委嘱（5月委嘱 任期2年） ○南国市少年育成センター運営委員の委嘱（5月委嘱 任期1年） ○令和2年度中学校教科用図書調査研究委員会委員の委任（5月委任 任期1年） ○南国市教職員衛生委員会委員の任命（6月任命 任期1年） ○南国市立図書館協議会委員の委嘱（6月委嘱 任期1年） ○令和2・3年度南国市障害者教育支援委員会委員の委嘱・任命 （6月委嘱・任命 任期2年） ○南国市子ども読書活動推進委員の委嘱（7月委嘱 任期2年） ○南国市少年育成センター運営委員会委員の委嘱（7月委嘱 任期2年） ○南国市いじめ問題専門委員の委嘱（8月委嘱 任期1年） ○南国市社会教育委員の委嘱（10月委嘱 任期2年） ○令和2年度南国市運動部活動改革推進委員会委員の委嘱・任命</p>
		●									
<p>(9) 教育予算その他議会の議決を経るべき 議案について意見を申し出ること</p>	<p>実現度 ↑ →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			●							<p>○令和3年度当初予算編成方針についての確認を行った。（11月）</p>
		●									

<p>(10) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第40条の規定による公民館の事業又は行為の停止に関する事</p>	<table border="1"> <tr><td>実</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現</td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">→重要度</td></tr> </table>	実				現			●	度				↑				→重要度				<p>○令和3年2月現在、該当するものなし</p>
実																						
現			●																			
度																						
↑																						
→重要度																						
<p>(11) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること</p>	<table border="1"> <tr><td>実</td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>現</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">→重要度</td></tr> </table>	実			●	現				度				↑				→重要度				<p>○大篠小学校校区の児童数急増の緩和と、大篠小学校に隣接する6校の教育のさらなる活性化のため、平成29年度より大篠小学校隣接校選択制度を実施している。 ○本制度利用者は、平成29年度新入学児11名（当初12名であったが、後日1名取り下げ）、2年生以上の在校生は9名（当初は10名であったが、隣接校区に転居のため）であり、平成30年度新入学児が12名、2年生以上の在校生は3名であった。令和元年度新入学児が14名、2年生以上の在校生は12名であった。令和2年度新入学児24名、2年生以上の在校生は22名であった。令和2年12月31日現在で、令和3年度は新入学児は14名を予定している。</p>
実			●																			
現																						
度																						
↑																						
→重要度																						
<p>(12) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと</p>	<table border="1"> <tr><td>実</td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>現</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">→重要度</td></tr> </table>	実			●	現				度				↑				→重要度				<p>○南国市立小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業委託に係る委託事業者のプロポーザル審査委員会設置要綱の制定について（4月） ○令和2年度主任承認について（4月） ○令和3年度以降使用中学校教科用図書（全般的）調査研究方針について（5月） ○新型コロナウイルス感染症対策における学校臨時休業に伴う昼食費補助金交付要綱の制定について（5月） ○南国市学校臨時休業対策費補助金交付要綱の制定について（5月） ○南国市就学援助規則第6号第3項の援助費目の追加と額について（6月） ○南国市学校給食費条例の制定について（8月） ○山本早雲顕彰事業補助金交付要綱の制定について（8月） ○南国市学校給食費条例施行規則の制定について（9月） ○南国市修学旅行キャンセル料支援事業費補助金交付要綱の制定について（11月） ○香長中学校子ども見守りカメラ管理規定の制定について（12月）</p>
実			●																			
現																						
度																						
↑																						
→重要度																						

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 就学前の保育・教育、学校教育に関すること

中項目	小項目	内容・点検																									
①市民に信頼される開かれた保育所・保育園・幼稚園・学校経営の推進	幼稚園行事 (たちばな幼稚園)	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> <p>【取組内容】 ◎地域との積極的な交流を図ることにより、地域に愛される幼稚園づくりを推進する。 ○夕涼み会、おじいちゃん・おばあちゃんの日の集い等実施する。</p> <p>【自己点検】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、当初に計画していた交流が中止となった。しかし、園の行事の様子や出来事を手紙に書いて配布したり、地域の方に頂いたカブトムシのお礼にと手紙を書いて少人数の子ども達と渡しに行ったりするなど、今できる交流の仕方を考え、工夫する機会となった。</p>	成					果				●	度					↑									
成																											
果				●																							
度																											
↑																											
	開かれた学校づくり 推進委員会 (管内全小中学校)	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> <p>【取組内容】 ◎社会に対して「開かれた学校」とし、家庭や地域社会に対して積極的に働きかけを行い、家庭や地域社会とともに子どもたちを育てていくという視点に立った学校運営に努める。 ○各校・園では、開かれた学校づくり推進委員会を設置し、地域に開かれた学校づくりを推進し、2月に活動の集約を行う。</p> <p>【自己点検】 ・各校開かれた学校づくり推進委員会を開催し、学校評価も年末には行うことができている。さらに、学校運営協議会と兼ねる形等、どの学校も開催することができている。</p>	成				○	果				●	度					↑									
成				○																							
果				●																							
度																											
↑																											
	学校運営協議会 (奈路小・白木谷小 ・鳶ヶ池中学校区・【令和 2年度より岡豊小】)	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> <p>【取組内容】 ◎学校運営協議会では、学校運営に保護者・地域住民等が一定の権限及び責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校、家庭及び地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、一体となって子どもたちの教育に取り組むことを目的とする。令和5年度までに設置率100%を目標とする。 <南国市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則（平成18年11月21日）> ○協議会の委員は、15名以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。 (1) 設置校の所在する地域住民 (2) 設置校に在籍する児童及び生徒の保護者 (3) 学校関係者 (4) 識見を有する者 (5) 前各号に掲げる者のほか教育委員会が適当であると認める者</p> <p>【自己点検】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で見通しが持ちにくく、会を開く時期もずれこんでしまった。各校（ブロック）の学校運営協議会の委員と学校・地域住民が連携を図り、地域の特色を活かした取組を行うことができた。しかし、地域における人材の高齢化、条件に合った雇用が難しく、コミュニティ・スクール推進委員等の人材の確保がむずかしい状況にあり、今後は、各中学校ブロックで人選を図っていく等、見直しが必要である。</p>	成					果				●	度					↑									
成																											
果				●																							
度																											
↑																											

<p>コミュニティ・スクール 推進体制構築事業 (奈路小・白木谷小 ・鳶ヶ池中学校区 ・久礼田小 【令和元年度より】)</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>												●					<p>【取組内容】</p> <p>◎学校、家庭及び地域住民相互の連携・協働を推進するため、学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開するとともに地域のコミュニティの活性化を図る。</p> <p>○南国市全体の「コミュニティ・スクール推進体制の構築を図るため、CS指定校（区）に、CSディレクターを配置し、学校運営協議会設置に向けた組織体制を確立する。</p> <p>○目的 学校運営に保護者・地域住民等が一定の権限及び責任を持って参画をする。学校・家庭及び地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、一体となった取組を推進することによって、特色のある学校・地域としての活性化を図る。</p> <p>○持続可能な仕組みとなるように、南国市教育委員会事務局が中心となり、体制整備を行う。</p> <p>○コミュニティ・スクール学習会（令和2年9月17日） ・講師：佐川町立黒岩小学校 校長 黒瀬 忠行 氏 (文部科学省コミュニティ・スクールマイスター)</p> <p>【自己点検】</p> <p>・各校（ブロック）のCSディレクター及び学校運営協議会委員と学校が連携を図り、地域の特色を活かした取組を行うことができた。一昨年度より、学校運営協議会に市教委は参加をしていないが、（白木谷小、奈路小は最終回だけ参加）各校で自主的な運営体制が確立されてきている。しかし、令和4年までに国が進めようとしている各校のコミュニティ・スクール化に向け、中核となる推進委員の人選も含めて、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）と学校地域協働本部事業との効果的な運用について、見直しを図ることが必要である。</p>
			●															
<p>学校評価 (管内全小中学校 ・たちばな幼稚園)</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>												●					<p>【取組内容】</p> <p>◎自らの教育活動その他の学校運営について改善を図る。学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。設置者等が、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じ教育の質の保証を図る。【南国市学校評価ガイドライン（平成29年4月）】</p> <p>○学校は、授業参観や学校評価書の作成等、職務内容について説明し、理解を得たうえで委員の就任の依頼を行う。</p> <p>○教育活動や学校経営の様子を公開し、学校関係者評価委員会と学校との十分な意見交換や対話を行い、理解を深めるようにする。</p> <p>○学校関係者評価委員会は、教育活動の観察や各種資料の検証等を通じて、評価や改善方策の提案する。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・評価として「①保育・教育活動の充実」「②職員の育成・資質向上や運営」「③地域に開かれた園づくり」を柱としている。そして③の中でも、「子育て支援・預かり保育」として、保護者理解やニーズを把握し、実態に合った支援を行うこととしている。預かり保育については、『希望する保護者がいる中で実施できたことは、一定の評価である。保護者の方々からは「ありがたかった」という意見が多かった。』とし、上から2番目の肯定的評価をいただいている。</p>
			●															

<p>②学力の向上等を図る保育・教育の充実</p>	<p>保幼小連絡協議会 (管内保育所・園、幼稚園・管内小学校)</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>												●					<p>【取組内容】 ◎学びや育ちが保育所（園）・幼稚園と小学校でスムーズに連携がとれるよう研修や情報交換を通して、保育教育の充実を図る。 ○「学びや育ちがつながる保幼小接続期のポイント」をテーマに、5月開催予定。 ○また、夏季休業中を利用し、小学校教諭が保育士体験を実施する予定。 【自己点検】 ・本年度は保幼小連絡協議会（5月開催）が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になり、気になる幼児の引き継ぎだけではなく、接続カリキュラムの中身まで十分に話し合う時間を設けることができなかった。常日頃から意識してできる交流の中で行う情報交換が、より一層大切になってくる。また、保幼小を繋ぐうえでスタートカリキュラムが重要であり、作成するのを1年の担任に任せるのではなく、学校全体で考えていく必要がある。</p>
			●																
	<p>南国市幼児教育研究会 (管内保育所・園、幼稚園)</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>												●					<p>【取組内容】 ◎幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識した幼児教育の研究を行う。 ○本年度は「一人ひとりの自尊感情を高める保育 ～いのちの教育～」をテーマに、あとむ幼稚園が10月27日（火）に公開保育を行った。2月8日（月）の研究発表会は中止となった。 【自己点検】 ・公開保育では、習得五目標（あとむ幼稚園）に視点をあて、「教えない教育」が子どもの様子や先生方の動きからうかがうことができた。自分たちが育てたつるを使い、リースを一生懸命に作る姿が見られ、どの子も途中であきらめる事なく最後まで取り組む姿が素晴らしかった。認定こども園への訪問が日頃から可能で、室内での活動も参観させていただき参考にしたい。</p>
			●																
	<p>小中連携学力向上プロジェクト事業 (指定校：管内全小中学校) ※地域アクションプラン補助対象事業</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>【取組内容】 ◎第2次南国市教育基本振興計画及び小中学校学力向上推進プランの実現を図る。 ○4中学校ブロックごとに、南国市の重点課題に沿った研究を行う。 ○南国市の重点課題を、①国語科の授業改善及び「読む能力」「書く能力」の育成 ②特別支援教育 ③道徳教育 ④英語教育 ⑤防災教育に焦点を当て、予算配当もそれに従う。 ①主に北陵中学校ブロックが国語科を中心とした研究の取組を行い、講師：吉田 裕久教授（広島大学）を招聘して授業研究を行い、求められている授業の在り方を学ぶ機会を、本年度も設定した。（9/14・15） ②すべての教育活動の基盤となる特別支援教育を柱に据え、ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり、環境づくりを行うことの重要性を継続して周知した。 ③本年度も「学校・家庭・地域が一体となった道徳教育の推進（かがやく明日への人づくり）」を柱とし、考え、議論する道徳の授業づくりを継続して周知した。 ④南国市英語担当者会 （8/25実施予定→新型コロナウイルスに伴う前期後期制導入のため開催中止） ⑤南国市防災教育研修会を各校学校安全担当者対象に、10/27に開催した。 （講師：高知工業高等専門学校 岡林 宏二郎 氏）</p>
			●																

		<p>【自己点検】</p> <p>①南国市の学力課題に焦点を当て、講師 吉田 裕久教授による新学習指導要領に対応した国語科授業の在り方を学ぶことができる機会を、今年度も北陵中Bに中心となっただき、設けることができた。</p> <p>②「ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり」という言葉は周知されてきている。また、シラバスの提示や視覚支援は、特に各校徹底されてきている。しかし、「ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり」の本質。すなわち、「児童生徒が自ら関わりたくなる教師の工夫がある授業」という理解が進んでいないことがあり、シラバスの提示や視覚支援だけで終わっている授業づくりもまだまだ少なくない。また、来年度より活用が始まる「一人一台端末を活用した授業づくり」でも、ICTを活用することは支援を要する児童生徒には大変必要なものであり、その意識を教員も持つ必要があると考える。そのために、10/20に「南国市特別支援教育学校コーディネーター会」を開催した時に、各学校の特別支援教育学校コーディネーターにも話をした。</p> <p>③岡豊小が推進校となり、研究発表会（10/30・2/19）、各校の道徳教育推進教師を中心に先生方の参加があり、効果的な指導や評価の在り方について学ぶ機会となった。今後は、道徳教育推進教師を中心に学んだ内容をそれぞれの学校で、全教員に確実に周知していくことが必要である。</p> <p>④今年度は、11月30日（月）に日章小で開催した英語教育改善プラン推進事業授業研究会において、南国市の英語担当教員が出席した。本授業研究会では、日章小の研究テーマである「新学習指導要領全面実施における適切な評価の在り方」の具体的な取組や公開授業を通して、参加者全体で研究テーマに基づいた協議ができた。また、本授業研究会は東京家政大学の太田洋教授にリモートによる講話をいただき、英語教育における「適切な評価の在り方」について小中連携を図ることができた。</p> <p>⑤本年度は新型コロナウイルス感染症のため、1学期に予定していた研修会が、2学期の開催となった。自校の危機管理マニュアルの見直し等に役立ててもらうためにも、年度当初に設定する必要がある。</p>													
<p>教育課程研究校事業 （国指定校：大篠小） 2期目 ※令和元・2年度 県指定事業</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成 果 度 ↑</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>→重要度</p>	成 果 度 ↑								●					<p>【取組内容】</p> <p>◎自ら学び、自信をもって共に伸びる児童の育成～見方・考え方を働かせる算数科の授業～を目指し、「数学的な見方・考え方」を確かなものにしていく。</p> <p>○本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研究発表会は開けなかったが、全学年公開授業を行った。</p> <p>○令和2年12月4日（金）笠井 健一教育課程調査官を招聘し、公開授業を行う。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・「大篠スタイル」として授業づくりのプロセスの共有ができており、組織的な授業改善ができています。児童の振り返りや発言の中に、算数用語を使い説明をするなどの成果はでてきています。</p>
成 果 度 ↑															
					●										

<p>令和2年度「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践研究事業 (指定校：香長中)</p>	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>	成					果				●	度					↑					<p>【取組内容】</p> <p>◎新学習指導要領で求められている「資質・能力ベース」の授業の実現、教材分析力及び授業分析力の向上を目指し、教員同士が切磋琢磨しながら授業力を磨くとともに、小中9年間の学びを軸にした教科横断的な授業づくりを推進し普及していく。また、研究推進の中核となる教員は、配置校における研究の中心として推進に資する。</p> <p>○教材研究会及び授業研究会を1セットとし、年間3回実施する。(公開を原則)教材研究会では、模擬授業を15分～20分行い、他校からの参加者も含め、全員で視点をしぼった授業づくりについて協議を行う。その後、本事業の講師である、学力向上総括専門官(高知県教育委員会事務局小中学校課：斎藤 一哉先生)より指導・助言、全体講話をいただく。</p> <p>○1セット目：5月1日(金) 教材研究会Ⅰ、7月6日(月) 授業研究会Ⅰ 2セット目：7月31日(金) 教材研究会Ⅱ、10月1日(木) 授業研究会Ⅱ ※新型コロナウイルス感染症のため、2セット目までは中止。 3セット目：11月5日(木) 教材研究会Ⅲ、1月28日(木) 授業研究会Ⅲ</p> <p>○学力向上総括専門官の訪問や教材研究会、授業研究会に合わせて、研究推進の中核となる教員が、各教科主任とともに授業参観・協議を行うことで、各教科を「見方・考え方」でつなぎ、各教科の「見方・考え方」を踏まえた授業づくりを目指し、各教科主任の「授業を見る力」の育成を図る。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・研究推進の中核となる本事業の教員が教科主任会にも参加をし、若年教員の授業づくりについて指導・助言を行うことで、若年教員の指導力の向上につながっている。また、教科会では教科の系統性を貫いた単元計画の見直しや取扱う題材の変容など、各教科会が充実した取組ができています。今年度は、本事業の最終年度であり、1月28日(木)授業研究会Ⅲは「高知県春季セミナー」と兼ねて県内に広く周知する。</p>
成																						
果				●																		
度																						
↑																						
<p>メンター制を活用した実践研究事業 (指定校：初任者配置校)</p>	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>	成					果				●	度					↑					<p>【取組内容】</p> <p>◎ベテランの教員やミドルリーダークラスの教員が指導・相談役(メンター)として、若年教員(メンティー)を、責任をもって育成するメンターチームを学校規模や教員配置に応じて組織し、チーム内で学び合う仕組みの構築について研究を推進し、日常的なOJTの活性化を図る。</p> <p>○研修コーディネーター配置校【拠点校】大篠小・岡豊小・北陵中 【推進校】十市小・日章小・久礼田小・国府小・後免野田小 香長中・鳶ヶ池中</p> <p>○メンターチームの組織化・位置づけ ○メンターチームによる研修(メンターチーム会)の定期的な実施 ○研修会【年3回】 ※高知県教育センターによる ○学校経営アドバイザーによる訪問指導・評価</p> <p>【自己点検】</p> <p>・メンター制では若年教員が学んで育つだけではなく、ミドルリーダークラスの教員が「人材を育成できる教員」に育つことができるという効果も出てきている。今後も、継続した取組によりチーム一丸となり主体的に学び合うことで学校全体を高めていくこと。また、限られた時間のなかで、「何をどう学ぶのか」が非常に大切になってくる。</p>
成																						
果				●																		
度																						
↑																						

<p>一人一台パソコンを活用した「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善事業 (管内全小中学校) ※地域アクションプラン補助対象事業</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●									<p>【取組内容】 ◎令和2年度におけるGIGAスクール構想による高速ネット環境及び端末整備を行い、一人一台パソコンを活用した「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を図る。 ○高速ネット環境整備を行う。 ○全児童生徒及び教員用端末の整備を行う。 ○管理職・情報教育主任への情報提供を行う。</p> <p>【自己点検】 ・当初5年間で整備する予定であったものが、新型コロナウイルス感染症拡大に向けての対応を、1年間となり、全てが急ピッチで行わなければならなくなった。ネット環境は都築電気が、端末は四電工の契約となった。ネット環境は現在も工事を行い、終了を2月末としている。端末は当初年明けと言われていたが、それが2月に。そして、今では3月と言われており、年度内の研修も含めたものを進めることができにくくなっている。南国市では授業支援ソフトとして「ロイロノート・スクール」を活用していくことが決まり、教育委員の方にも久礼田小の実践を見ていただいたり、学校長等からの説明も実機を使いながら紹介することができた。年内に、児童生徒及び教員のGoogleアカウントも発行でき、児童生徒のGoogleアカウントは保護者にも通知書をもってお知らせすることができた。広報なんこく（2月号）で南国市のGIGAスクール構想について周知することができた。</p>
			●															
<p>ICT支援員の配置 (奈路小・久礼田小)</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>【取組内容】 ◎配置校の校内ICT機器の管理を行ったり、教員のICT機器操作のサポートを行ったりする等を通して、ICTを活用した授業づくりを高めていくとともに、児童生徒のICT活用能力を高める。 ○プログラミング教育を配置校で進める。 ○今年度より各学校のホームページ作成ソフト（ホームページビルダー）が稼働していない学校に対して市教委からICT支援員を派遣する。 ○GIGAスクール構想に向けての準備を行う。</p> <p>【自己点検】 ・プログラミング教育については、昨年度より支援員研修会において「プログラミング教育の基本」をはじめ、具体的に各学校で取り組めるようWebソフト「Scratch」を実際に動かしての研修を行った。また、緊急事態宣言の発令もあり、各学校自校のHPが活用できない状態になっていることに目を向けざるをえなくなった学校が多く、奈路小配置ICT支援員にその対応を一手に担っていただいた。GIGAスクール構想に向けても、今ある端末でどのようなことができるのかを検討していただき、心構えも含めて教員に変わって準備をしていただいた。</p>
			●															

<p>全国学力・学習状況調査 到達度把握・授業評価シス テム推進事業 (管内全小中学校)</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: right;">→重要度</p>				●													<p>【取組内容】 ◎義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への指導の充実や学習状況の改善を図る。 ○令和2年度全国学力・学習状況調査(7/29南国市として実施) ・調査対象：市内全小学6年生、中学3年生 ○到達度把握調査(4/18実施、12/18実施) ・新型コロナウイルス感染症のため、中止。 ※高知県学力定着状況調査は、12月に、小学4・5年生と中学1・2年生で実施</p> <p>【自己点検】 ・今年度は全国学力・学習状況調査が中止となったため、本市では7月29日に市内統一日として本調査に取り組んだ。各校で自校採点を実施し、自校の成果や課題について分析を行った。小学校の国語については、与えられた条件を基にしながら理由を記述する問題の正答率が最も低く、読む・書くの力を定着させることが今後の授業改善のポイントとなる。また、算数では分数(割合)の概念について、図を基に正しく説明する問題が最も正答率が低い結果となった。異分母の取扱いについては、4年生から5年生への指導の系統性を図り、誤解のない定着が今後の授業改善のポイントとなる。中学校の国語については、相手側が伝えたかったこと・自分自身が感じたことを踏まえながら、お礼の手紙を書く問題の正答率が最も低く、敬語や丁寧語を活用しながら文章が作成できるよう授業改善を図る必要がある。また、数学については、合同な図形の性質を活用しながら平行になるための条件を論理的に示していく問題の正答率が最も低く、図形を観察的に処理し、道筋をたてて示していけるような授業改善が必要である。児童生徒質問紙については、小中共に家庭学習における時間(学習塾や家庭教師の時間も含む)が低く、反対に携帯電話やゲーム機等のICT使用時間が高い結果となった。基礎的な学力を定着させるためには、家庭学習の充実が必要だと考える。また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」という質問に対して、否定的な意見が中学校3.6%、小学校4.1%であった。</p>
			●															
<p>英語教育拠点校事業 (拠点校：香南中)</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: right;">→重要度</p>				●													<p>【取組内容】 ◎香南中学校を英語教育研修拠点校として指定(令和元年度～令和3年度の3年間)をし、英語推進教師1名を配置する。英語推進教師は、新学習指導要領(平成29年3月公示)に示された英語教育の実現に向け、香南中学校区内の日章小学校、大湊小学校を中心に連携を図り、小学校英語科の授業づくりの支援を行う。 ○英語推進教師は、上記2校以外の市内全11校を1年間で全て訪問し、小学校英語科における授業改善を進めるとともに、市内各校の英語教育の推進体制の構築に向けて指導、助言を図る。 ○市教委が主催する市英語担当者会とも連携を図り、小中学校のつながりを生かした授業改善を図り、その研究の過程や成果の普及を通して児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。 ○英語通信(Hello, teachers!)を定期的に発行し、英語教育推進のための情報提供を行う。</p> <p>【自己点検】 ・英語推進教師が校区の小学校(日章小・大湊小)と連携を図り、小学校英語科の授業づくりについて指導・助言を行い、担任の英語力の向上に資することができた。また、年間2回の授業づくり講座では、中部教育事務所 弘瀬佐和指導主事の指導・助言をいただき、新学習指導要領で求められている英語のモデル的な授業を英語推進教師が披露し、県内の各校の教員が学び合える貴重な機会となった。また、今年度よりスタートした英語教育改善プラン推進事業(日章小)における指導・助言にも携わり、研究テーマに沿った取組の一助となっている。</p>
			●															

<p style="text-align: center;">英語教育改善プラン 推進事業 (拠点校：日章小)</p>	<p style="text-align: center;">成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>							●	○									<p>【取組内容】</p> <p>◎日章小を拠点として、学習指導要領の趣旨に基づく授業づくり及び学習評価の工夫・改善、英語教育における効果的な小小連携や小中連携の推進を図る。英語推進教師は、自校の研究に努めるとともに、研修協力校が公開授業を行う際は、積極的に研修に参加して研究に努める。また、自校においては年に2回以上の公開授業を推進教師を中心にを行い、そのうち1回を「授業改善研修」として広く県内に普及する。</p> <p>○研究テーマを「新学習指導要領全面実施における適切な評価の在り方について」と設定して、単元計画の見直しや年間カリキュラムを設定し、研究に努める。</p> <p>○児童及び教員の意識調査を年2回集計し、その結果を基に到達度状況を図りながら検証していく。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・11月30日に実施した授業改善研修（公開授業研）では、東京家政大学の太田洋教授とリモートでつなぎ、公開授業や太田洋教授との対談、「適切な評価の在り方について」と題した講話・演習を行った。特に、日章小の英語教員と太田教授との対談では、日章小の今までの取組や目標について明確に伝えることができ、それに対して太田教授よりの確かな指導・助言がいただけた。</p>
		●	○															
<p style="text-align: center;">小学校英語専科指導 に係る指定校 (大篠小)</p>	<p style="text-align: center;">成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>							●	○									<p>【取組内容】</p> <p>◎小学校3・4年の外国語活動、5・6年の外国語科（英語）の授業実践を通して、児童の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。また、年に1回以上の公開授業を行い、南国市の小学校教員への授業提案を行う。</p> <p>○small talkを計画的に授業に組み込み、対話の機会を増やす。題材に沿った「問い」を設定し、自分なりの考えを持たせ、児童間で共有し、単元理解やメタ認知を図る。</p> <p>○公開授業等に積極的に参加し、小小連携、小中連携を図る。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・年度当初に実施した意識調査では、60%以上の児童が「英語（外国語活動）の授業は楽しい」や「英語（外国語活動）の授業に進んで参加している」「英語（外国語活動）の授業の内容を理解していると思う」と回答しており、児童が外国語活動で英語を聞き慣れ・言い慣れしながら楽しく学ぶことで、外国語科の円滑な接続に繋がっていると考えられる。外国語科では、外国語活動の素地を生かし豊かに表現できる児童の育成が図られる。</p> <p>・「英語が大切だと思う」と回答した児童はおよそ70%おり、児童が言語・非言語コミュニケーションを用いて、対話活動を通して自己意識（外国語活動）や相手意識（外国語）を持ち、関わり合う意欲や態度が育まれると期待できる。</p>
		●	○															
<p style="text-align: center;">スクールロイヤー</p>	<p style="text-align: center;">成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>								●									<p>【取組内容】</p> <p>◎法律の専門家である弁護士2名と、南国市スクールロイヤーとして契約を締結し、その知識・経験に基づき、法的側面から学校に助言等を行うことで、いじめ等複雑化する学校の諸課題の効率的なサポート体制の充実を図るとともに、学校トラブルへの市全体の相談体制の構築を図る。</p> <p>○校長会等で、スクールロイヤー制度の目的、役割、期待される効果などを周知するとともに、法的相談の手続き等について説明し、学校が法的相談が必要な状況となった場合は、市教委に相談するよう伝える。</p> <p>○校内研修にスクールロイヤーを派遣し、スクールロイヤー制度の目的、役割、期待される効果などを周知するとともに、保護者等との良好な関係を維持しながら教育上の課題に対応するうえで学校として気を付けることについて、教職員が学ぶことができるようにする。</p>
			●															

		<p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールロイヤー制度の目的、役割、期待される効果などを周知することで、管理職や教職員、保護者等との関係に留意しながら教育上の課題に対応することを意識するようになった。 ・スクールロイヤーの活用事例がないため、法的相談することが保護者等との良好な関係を維持しながら教育上の課題に対応するうえで効果的かどうかの判断がつきにくく、令和2年12月現在、相談はまだない。 																
<p>共同学校事務支援室における働き方改革実践事業 (学校事務支援室)</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎学校事務支援室における加配事務職員の配置により、小中学校給食費の公会計化に向けた整備が南国市教育委員会とともに図られるとともに、各種システムの導入・活用を通して教員及び学校事務職員の業務負担軽減を図ることに資する。 ○小中学校給食費の公会計化の実施に向けた取組を継続的に行う。 ○学校預り金の口座引き落としによる、教員の業務負担軽減に向け、新しく南国市に異動配置になった教員がいる中、令和元年度以上に適切な取組を定着させる。 ○教員・学校事務職員の業務負担軽減の取組に向け、本年度より年間通じての統合型校務支援システムが運用となり、それらを適正かつ効果的・効率的に教員が利用できるようにする。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校給食費の公会計化は令和3年度より開始することができるよう各種調整等行った。 ・学校預り金の口座引き落としについて、学校事務職員の中でも継続的に状況把握をしていただき、本年度南国市に異動してきた学校事務職員がいる学校も、学校組織として対応することができている。 ・本年度も統合型校務支援システムに新たな機能が実装される中、学校事務支援室における加配事務職員を中心に、県の資料だけでなく、「学校事務計画」に資料として載せられるよう南国市独自の資料も作成し、周知していった。また、毎月開催される事務の会「実務日」において、事務職員同士での確認も行っていった。
			●															
<p>特別支援学級等 専門家活用事業 ・合理的配慮 コーディネーター ⇒長岡小・鳶ヶ池中</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>①合理的配慮コーディネーター</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育を推進していくため、障害のある児童等に対して、その状況に応じて提供する「合理的配慮」の実践事例を蓄積するとともに、適切な「合理的配慮」のための校内体制を整備する。さらに、その中でも、「知的障害特別支援学級」の学級担任の指導力向上を図る。 ○本年度は1名で小中学校の2校受け持ち（長岡小、鳶ヶ池中）、指導にあたる。 ○「合理的配慮コーディネーターの会（合の会）」を高知市支援教育スーパーバイザーの2名と共に学期1回の予定で開催し、各校での取組の現状把握等情報共有を行うとともに、各校の特別支援教育の充実に向けて、現在課題となっていることの確認をする。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮コーディネーターが配置校の2校の特別支援学級や通常の学級の環境整備や授業に対して、合の会や研修等で得た知識や取組をいかして指導・助言することができた。また、要請のあった、合理的配慮コーディネーターを配置校以外の学校にも派遣し、児童・生徒を見取り、知的障害特別支援学級を中心に、学級担任へ指導・助言を行うこともできた。
			●															

<p>・医療的ケア コーディネーター ⇒大篠小、日章小 (スクールナース)</p>		<p>②医療的ケアコーディネーター 【取組内容】 ◎特別な医療的支援が必要な子供が、就学前から卒業後にわたる切れ目ない支援を受けられる体制の整備を推進していくために、特別支援教育に関する専門的な知識や技能を持った医療ケアのための看護師を「医療的ケアコーディネーター」として配置する。 ○医療的ケアコーディネーター（スクールナース）2名を大篠小に配置。1名を日章小に配置。病弱・身体虚弱特別支援学級入級児童に対する酸素ポンベの定時交換、給食及び緊急時等におけるエピペン使用児童（6名）の対応、導尿の実施、養護教諭の業務補助等の職務を遂行する。 【自己点検】 ・医療的ケアコーディネーターが常に配置されていることで、子どもたちだけでなく、教員間にも安心感が生まれてくる。特に大きな対応が何もなかったことが大きな成果であり、保護者とも連携しながら該当児童の安全な学校生活を確保できた。また、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消毒等でも力を貸していただいた。</p>																
<p>南国市教育研究会</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="797 592 938 772"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> </table> <p>→重要度</p>																●	<p>【取組内容】 ○令和元・2年度の2年間は休止 【自己点検】 ・現在、この2年間を受けて、令和3年度以降どのようにしていくのかをアンケートもとりながら検討している途中である。</p>
			●															
<p>学校図書館支援員の配置 (管内小中学校)</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="797 837 938 1018"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> </table> <p>→重要度</p>																●	<p>【取組内容】 ◎8名の図書館支援員を小中学校に配置し、各小中学校の図書館担当とともに各校の図書室の環境整備や図書の充実を図る。さらには、各校の読書の充実や国語科の学力向上の一助となる活動を行う。 ○大篠小・香長中以外は2校かけもちで活動する。 ○平成30年9月より、新図書館システム「探調システム」を導入している。 【自己点検】 ・各校の学校図書館支援員の特色も生かした学校図書館の環境整備を行い、児童生徒が本を少しでも読みたくなる環境の工夫をどの学校も積極的に行った。しかし、第3次子ども読書活動推進計画をもとに「南国市立図書館」との連携も図ることができるシステムの構築ができたものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止による支援員研修会が中止になることがあり、昨年度のような、南国市立図書館との連携を図った研修ができなかった。その中で、各学校の蔵書計画については、南国市立図書館より国語の教科書に提示されている本を拾い出していただき、各校のシステムを活用しながら、蔵書の充実を昨年度以上に図ることができた。</p>
			●															

<p>放課後等学習支援事業 (管内小中学校)</p>	<table border="1"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>	成					果				●	度					↑					<p>【取組内容】 ◎放課後の加力学習を実施できるよう支援員を派遣し、教職員とともに学力補充を要する学力層を中心に、学力の定着を図る。 ○放課後だけでなく、5・6時間目や長期休業中の加力学習にも支援員を派遣し、教職員とともに指導に当たることで、よりきめ細やかな個別支援を行える体制を整える。 ○実施校【小学校12校（稲生小以外）・中学校4校】</p> <p>【自己点検】 ・各校ともに、教職員とともに放課後の加力学習を実施できた。とくに、学力補充を要する学力層の児童生徒に対して個別指導を行うことにより、基礎学力の補完を行うことができた。しかし、学校によっては、学習支援員の早期の確保ができず、開始時期が2学期以降の学校もあった。次年度は、早期の支援員の確保による早期のスタートが課題である。</p>
成																						
果				●																		
度																						
↑																						
<p>③心の教育を支える保育 ・指導の充実</p> <p style="text-align: center;">安心・安全な 学校プロジェクト</p> <p style="text-align: center;">不登校プラスワン 未然防止等事業</p> <p>(指定校：管内小中学校) ※地域アクションプラン 補助対象事業</p>	<table border="1"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>	成				●	果					度					↑					<p>【取組内容】 ◎小中学校学力向上推進プランの実現を図るとともに、小中連携で安心安全な学校づくりを推進するために、「いじめ」「不登校対策」の取組の推進と、南海トラフ地震等の防災教育を目指す。 ①年2回のQ-Uアンケートの活用、引継ぎシートの活用による積極的な生徒指導や、不登校等学習支援員を南国市の全中学校に本年度は4名配置している。 ②南国市児童会生徒会交流会を、8月1日（土）に開催予定。 ③本年度もゲートキーパー養成研修を、夏季休業中と冬季休業中に開催する。夏季休業中は、南国市の関係機関の職員対象に開催し、南国市民対象の開催の足掛かりとする。 ④各中学校の代表生徒や実践的防災拠点校の児童、南国市を担っていく教職員と東日本大震災の被災地である宮城県を訪問し、自分たちの目で震災の状況や防災への取組、復興の様子を見たり、実際に地元の小中学校との交流をしたりすることで、防災について学ぶ機会を設ける。</p> <p>【自己点検】 ①Q-Uアンケートでは、各学校での児童生徒理解のための研修や市教委の全学校訪問での聞きとりを実施する等、学校と市教委で情報共有を行い、共に分析・対策に役立てることができた。また、不登校等学習支援員を配置することで、教室に入ることが困難な生徒に対して個別指導や学習支援を行い、学級復帰を促すことができた。しかし、不登校等学習支援員を必要とする学校が増えてきており、本年度3名配置のところ本年度4名にしたものの、配置方法や人数、時間数等工夫が昨年度同様必要である。 ②今年度より、南国市主催の取組となったため隔年で2つの中学校ブロックごとに児童会生徒会交流会を開催する計画をしていた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度は交流会を行うことができなかった。 ③本年度新しく異動してこられた未受講の教員は勿論、昨年度までの関係者にとどまることなく、もう少し広く南国市民へ広げて開催する予定であった。しかし、夏季休業と冬季休業の2回とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講師の方に南国市へ来ていただくことができず、本年度は全くゲートキーパー養成研修を行うことができなかった。 ④新型コロナウイルス感染症の影響により、実際に被災した場所や復興してきた街並みを見たり、体験談を聞いたりすることはできなかったが、地元の小学生とのリモートによる交流を行うことで、防災意識の高まりに対してよい刺激となった。</p>
成				●																		
果																						
度																						
↑																						

<p>南国市人権教育研究大会 (管内保幼小中高等学校等)</p>	<table border="1"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>	成					果					度				●	↑					<p>【取組内容】 ◎市民一人ひとりが人権問題解決に向けて主体的に行動する力を育成するために、学校現場（保育所（園）・幼稚園・小中高等学校）や行政、それぞれの職場・地域で取り組まれている人権確立に向けての具体的な実践を交流し、日々の生活に根ざし、地域と結びついた人権教育の充実と発展を目指す。 ○南国市人権教育研究大会の開催予定。（8月20日）</p> <p>【自己点検】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、例年通りの人権教育活動が実施できていない部分もあるが、各校における人権参観日の実施したり、中学校ブロックでは（6月20日鳶ヶ池中B・1月21日北陵中B）において講師を招聘して研修会を実施したりしている。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、南国市人権教育研究大会は中止となったが、役員会（8月19日・12月1日実施）を通して、人権教育の取組についての情報共有や「人権教育のあゆみ」の作成について話し合いができた。 ・今年度の「人権教育のあゆみ」において、各校の人権教育活動の取組内容や指導計画などを、例年通り作成する。</p>
成																						
果																						
度				●																		
↑																						
<p>不登校対応等担当者会 (管内小中学校)</p>	<table border="1"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>	成					果				●	度					↑					<p>【取組内容】 ◎不登校対応の中核的な働きをしている小中学校の担当者が一堂に会し、学校相互の不登校対応に関する情報交換を行い、全市的な不登校対応の一層の充実・強化を図る。 ○各学校担当者（代表）、ふれあい教室、教育研究所、市教委（指導係）、SSW、不登校等学習支援員を担当者会メンバーとする。 ○担当者を集めての研修及び小中連携による情報共有を行う。（8/6、11/10）</p> <p>【自己点検】 ・不登校児童生徒に関わる担任を含めたチーム支援の在り方について理解を深め学ぶことができた。その中で、今年度は中学校での不登校生徒数が減少していることや小中学校とも新規不登校児童生徒数が減少しているなど成果も見られるようになった。しかし、南国市の現状として、不登校児童生徒の割合はまだまだ多いものとなっており、要因も多様化かつ複雑化しているケースも増えてきている。学校や委員会、様々な機関でのさらなる連携強化が必要となってくるとともに、再度小中学校で、「子どもたちにとって本当に魅力のある学校」になっているか、教科学習をはじめ、学校行事や、特に中学校では部活動の取組も含めて、各校全教育活動を見直していく必要がある。</p>
成																						
果				●																		
度																						
↑																						

<p>スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業 （管内保幼小中学校）</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●									<p>【取組内容】</p> <p>◎学校だけの対応及び支援では、学校復帰等の改善が図りにくい児童生徒に対して、学校や教職員への支援及び保護者・児童生徒への直接的な支援を行う。（平成20年度から実施）</p> <p>○加藤SSW（鳶ヶ池中ブロック）、西山SSW（香長中・香南中ブロック）、奥宮SSW（北陵中ブロック）が学校の対応が困難なケースに優先順位をつけながら対応を行う。</p> <p>○就学前の子どもたちへの支援として、西山SSWが親育ち・特別支援コーディネーターと協力しながら保育所（園）・幼稚園の保育士や保護者とかわり、小学校へのつなぎを行う。また、保健福祉センターやこども相談係などとも連携し、多面的・多角的な支援をする。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・学校や関係機関と密に連携を図ることにより、保護者や児童生徒と学校との関係性の改善に努めることができている。また、保幼小の連携において、幼保の情報を小学校に具体的に伝えることで、課題の検討やその他専門機関の介入などの準備を行えている。今年度は、保幼小中の連携の情報共有が少しずつスムーズに行えるようになってきている。今後も、保幼小中連携としてSSWとしての働きや役割などをさらに周知し、学校や関係機関との役割分担を明確にして、より適切なアセスメントの必要性がある。</p>
			●															
<p>教育支援センター 「ふれあい」</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●									<p>【取組内容】</p> <p>◎南国市内に在住する不登校や不登校傾向の児童生徒に対し、主体性を大切にした学習や体験活動を通して「心の居場所」をつくり、集団生活への適応と自立を促すための援助や取組を行う。（室長1名・指導員2名・SC1名）</p> <p>○運営委員会（2回）第1回7/14、第2回2/16</p> <p>○連絡会（3回）4/23、10/6、3/4</p> <p>○夏季休業小中学校訪問：市教委と研究所長で全学校訪問し聞きとりを実施。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・場所が移転したが、教育支援センター「ふれあい」の周知はできてきており、昨年度は年間で9名の通室状況であったが、今年度は12月末時点で10名の通室状況（見学者は19名）があり利用者も増えてきている。また、定期的に学校の先生の訪問があるなど、連携もとれるようになってきた。しかし、利用者が増えてきている現状等、児童生徒の「居場所づくり」としては成果も出てきているといえるが、継続して通室する児童生徒が割合的に少ないことや指導員の不足や運営方法等での課題が見られた。また、次年度は一人一台端末を、不登校対策を含め、教育支援センターでどのように活用できるのかを検討する必要がある。</p>
			●															

<p>学校活性化・安定化 実践研究事業 (鳶ヶ池中)</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>								●									<p>【取組内容】 ◎令和2年度より2年間の指定事業で、児童生徒の自己指導能力を育成するため、学校の実態や課題に応じた開発的な生徒指導を推進し、児童生徒の意識調査を指標とした検証・改善を行うとともに、不登校担当者を中心として行われる校内支援会で得られた情報や見立て、手立てを開発的な生徒指導の取組に生かし、学校の活性化と安定化を図り、新たな不登校が生じにくい学校づくりを推進する。 ○アンケート調査【年3回(1・2・3学期)、対象：生徒、教職員】 ○研究推進会議【年4回】 4/14・7/27・12/14・3/2 ○授業研究【年2回】 6/22・11/25 ○学校支援会議【年1回】 7/10 ○校内研修会 8/25 (講師：愛媛大 城戸 茂 教授) ○推進リーダー会議【年4回】 5/28・7/10・11/17・2/26</p> <p>【自己点検】 ・学年間だけではなく、組織(学校全体)での取組になってきた。また、支援会等で出てきた課題に対して、必要に応じて迅速にケース会や情報共有の場を設定することができる体制づくりができた。今後、更に推進していくためには生徒に対する支援や手立て等の再確認が必要である。</p>
			●															
<p>道徳教育拠点校事業 (推進校：岡豊小)</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>								●									<p>【取組内容】 ◎岡豊小が高知県の推進校となり、道徳科の時間を軸とした組織的な授業改善を推進することで、日常的に授業研究に取り組む風土づくりを行い、自ら学び続け、共に学びあう教員を育成する。 ○「考え、議論する」道徳授業のイメージの共有や、考えさせたいことの明確化、児童生徒の多様な発言を生かす授業展開を目指す。 ○公開授業(各学年1回以上)や研究発表会を開催する。 10/30・2/19</p> <p>【自己点検】 ・岡豊小が推進校となり、「誠実に価値と向き合い、道徳としての問題を考え実践する子どもの育成」をテーマに、効果的な指導や評価の在り方について研究し、取組を県内へ普及することができた。しかし、10月の公開授業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの先生方の参加が難しい状況での開催となった。今後も道徳推進教師を中心に、その学んだ内容をそれぞれの学校で全教員にどのように周知していくのが課題である。</p>
			●															
<p>④健康で豊かな生活を拓く 保育・教育の充実</p> <p>食育推進事業</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>							●	○									<p>【取組内容】 ◎南国市食育推進計画(行動計画)に基づき、各校の特色ある食育を推進する。 ○食の自立をテーマに、高学年においては、「お弁当づくり」を実施している。</p> <p>【自己点検】 ・各校地域の方の協力も得ながら各学年に応じて、つくり育てるところからの食育を実践したり、家庭科や学校行事の中で南国市の野菜を使った料理を考えたりしながら、「食」への意識も高める取組ができています。しかし、まだ学校全体で「食育」に関わっていない学校も見受けられ、市教委としても支援等に入る必要がある。</p>
		●	○															

<p>米作り親子セミナー (後免野田小、三和小)</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="797 73 938 256"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td>○</td></tr> </table> <p>→重要度</p>											●	○	<p>【取組内容】</p> <p>◎農業体験を通して、景観・環境保全を含めた棚田での稲作農業の位置づけと重要性について学習するとともに、学校給食米の生産現場を親子で確認して生産農家との交流を通じて農業と食育への理解を深める。</p> <p>○今年度は後免野田小、三和小が対象校。</p> <p>○場所：上倉学習田 内容：田植え体験と稲刈り体験。</p> <p>○米作り親子セミナー交流会：毎年参加校が地元農家の方たちと交流会を行う。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、田植えや稲刈りは全て中止となった。来年度は、引き続き後免野田小、三和小で準備を進める。</p>
		●	○											
<p>実践的防災教育 推進指定事業 (県指定校：十市小) ※令和2・3年度 県指定事業</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="797 456 938 639"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>											●		<p>【取組内容】</p> <p>◎保育所、小学校、中学校が連携し、災害発生時に子ども自身が主体的に安全を確保するための判断力や行動力を育成するための指導方法の研究開発を行う。また公開授業、研究発表会、講演会を通じて、実践的防災教育の普及や啓発活動を進める。</p> <p>○内容</p> <p>①地域や関係機関との連携防災実践委員会の開催（年間2回）。</p> <p>②防災意識アンケートの実施（年間2回）。</p> <p>③効果的な避難訓練の実施（様々な場面や状況を想定して複数回実施【10回】）。</p> <p>④学校安全計画、危機管理マニュアルの見直し。</p> <p>○実践的防災教育推進事業の公開授業（12/2（水））を行う。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・年度当初は十市の特色をいかして、食育と防災を絡めた研究を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、食の取組はほとんどできなかった。そこでフィールドワーク（防災マップ作り）に力を入れた活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で、人を集めることが難しく地域へ広めていく部分に限界があり、来年度はいかに、取組を地域へと広めていくかが課題である。</p>
		●												

⑤子ども一人一人を大切に
する特別支援教育の
充実

特別支援保育
・教育推進事業

成 果 度 ↑				●

→重要度

【取組内容】
 ◎保育園・所等を訪問し、幼児の見取りを行うとともに、管内の保育園・所、幼稚園の職員への研修の充実を図る。
 ○親育ち・特別支援保育コーディネーターを1名配置し、研修会への参加や幼児・園児の見取りを行う。
 ○保育園・所や小学校を訪問し児童の様子を見とったり、引き継ぎシートについて助言したりすることで保幼小の接続の充実を図る。
【自己点検】
 ・就学に向けて気になる幼児の見取り等、指導主事と連携を図り複数の視点から様子を見取り、より適切な就学指導に活かすことができた。また、各保育所（園）・幼稚園をまわりながら、小学校入学にあたってのより良い姿の在り方を職員と共有したり、親育ち・特別支援保育コーディネーターの幼児一人ひとりの見取りを保育所・園の職員と共有し、保護者と小学校入学に向けて、保護者をサポートする意識もより一層見られ、幼児のより良い小学校入学につなげることができた。今年度はSSWとも連携を前半から開始し、複数の目で幼児を見とることができた。年長の保育士と引き継ぎシートを書いたり、見取りについて助言したりすることで保育士の能力向上につながった。

南国市障害者
教育支援委員会

成 果 度 ↑				●

→重要度

【取組内容】
 ◎実態に応じた適切な就学支援および教育支援を行う。
 ○対象：
 ・特別支援学級に入級している6年生
 ・障害児加配が付いている幼児、特別支援学級に入級している児童生徒
 ・保護者が特別支援学級及び通級指導教室の入級を希望する児童生徒
 ○構成委員
 ・小中学校長、教頭、特別支援教育に識見を有する小中教員、保育者代表、教育相談員（県の特別支援学校教諭、市内特別支援学校教諭、専門医師、南国市教育委員会（保健師がオブザーバーとして参加）
 ○教育支援委員会開催
 ・第1回教育支援委員会（7/10） ・第2回教育支援委員会（9/11）
 ・第3回教育支援委員会（11/6） ・第4回教育支援委員会（1/15）
 ・第5回教育支援委員会（2/）未定
 ○方法
 ・所長・園長との連携 → 保護者等と面談 → 教育相談（各種検査・聞き取り）の実施 → 教育支援委員会での判定と助言 → 保護者への結果説明 → 特別支援学級入級への編制計画の作成。
【自己点検】
 ・昨年度より結果返しの変更をやむを得ず行わなければならなかったが、教育支援委員会で助言をいただくことで、結果返しの際に保護者に付帯意見をつけて説明を行うことができ、教育支援委員会の判断としての返しができるようになった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響にともない、教育相談のスタートが今年度もおくれたことと、教育支援委員会にかかる人数がさらに増大したことで、保護者へ結果を返すまでの時間がかかったり、後半込み合う結果になったりした。また、就学時健診のR判定の幼児が多くなってきており、校長会等でも簡易の知能検査を幼児が迷うことなく、少しでも正しくできるよう事前の打合せ等を確実に行うことを依頼しているが、実際に入った時には刺激の少ない環境整備や説明の仕方など十分ではないことが見られる。

特別支援教育支援員の配置

成 果 度 ↑				
				●

→重要度

【取組内容】

◎南国市立小中学校に在籍する発達障害（学習障害〈LD〉、注意欠陥/多動性障害〈ADHD〉、高機能自閉症など）等、学習や生活において教育上特別な個別の支援を必要とする児童生徒に対して、担任と共にサポートするための特別支援教育支援員の配置をする。

○個別の支援を要する児童生徒が増加していることと、さらに、インクルーシブ教育の理念のもと特別支援学校を選択するのではなく、一般校の入学等を希望される保護者も増え、多様且つ専門的な対応を必要とする学校が増えてきている。

【自己点検】

・成果：教育上支援を必要とする児童生徒に対して、支援員を配置することで、きめ細かな支援をいれることができた。しかし、通常の学級内に支援を必要とする児童がさらに増えてきており、支援員の数が絶対的に不足している。また、担任の多忙さから支援員との細かな部分での連携がとりづらい様子も継続的に見られた。支援員の研修会でも事例をあげて支援員の力量をあげるよう取り組むとともに、学校組織として対応していくことの必要性を共有する必要がある。

(2) 生涯学習に関すること

中項目	小項目	成果度	内容・点検																				
①地域全体で学校教育を支援する体制づくりの推進	地域学校協働本部事業	<table border="1"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>	成					果				●	度					↑					<p>【取組内容】 ○本年度から新たに香長中、香南中、鳶ヶ池中、北陵中で事業開始した。事務局としては、統括コーディネーターとともに学校と連携が円滑に行えた。当事業では、地域が学校と連携して子どもの見守り、授業補助、放課後等の学習支援を行うことで、地域・家庭の教育力を向上させ、教員が子どもに向き合う時間を確保することを目標としている。</p> <p>【自己点検】 ・本年度は中学校4校も実施することにより、南国市の全小中学校で設置が完了した。県の目標より2年早く目標を達成できることは、統括コーディネーターとともに円滑に学校と事務局との調整を行っていることと、当事業が地域、学校に浸透してきたことと評価できる。しかし、地域コーディネーターが育成できていない地域もあり、人材育成が課題である。</p>
成																							
果				●																			
度																							
↑																							
②地域住民が主体的に学び楽しむ生涯学習の推進	公民館活動事業	<table border="1"> <tr><td>成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>度</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td>↑</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>	成					果				○	度				●	↑					<p>【取組内容】 ○南国市立18公民館（17地区公民館及び中央公民館）の事業支援や施設管理を行っており、令和元年度の18地区南国市立全公民館利用者数は延べ119,069名である。 ○公民館は、地域住民にとっての身近な生涯学習施設というだけでなく、「地域コミュニティの拠点」としてもその役割が期待されている。地区公民館では、三世代交流や文化祭、講演会や各種サークル等、それぞれの地域性が生かされた事業が行われている。 ○公民館は、災害時の避難所に指定されており、「地域の防災拠点」としての役割も担っている。平成24年度から28年度にかけて奈路、三和、後免町、前浜公民館を防災コミュニティーセンターとして建て替え、平成29年度以降は日章、国府、野田公民館にて非構造部材耐震化工事を施工した。中央公民館と大篠公民館を合築した南国市中央地域交流センター（仮称）は文化的行事などが行えるホール機能を含む多目的施設として整備しており、令和3年11月竣工予定である。当施設についても防災拠点としての機能を持たせることとしている。</p> <p>【自己点検】 ・生涯学習を提供し情報共有できる公民館機能として十分に利活用されている。 ・令和元年度より実施している地域学校協働本部の活動拠点としている他、放課後こども教室として学校とも連携する、地域に根差した施設となっている。 ・建設中の南国市中央地域交流センター（仮称）に関しては、施設名や管理体制に関しパブリックコメントによる公募をし、市民に永く愛される施設づくりを目指す。</p>
成																							
果				○																			
度				●																			
↑																							
		成	【取組内容】																				

<p>成人式</p>	<p>果 度 ↑</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●					<p>○新成人の新しいスタートを式典とアトラクションで祝福し、社会人としての認識を高めることを目的にし、帰省者にも配慮し、1月3日に実施日を固定し式典を開催している。本年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため式典を中止した。</p> <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を十分に考慮し、開催に向け準備を進めていたが、12月に入り高知県内での新規感染者数が急増し、県における新型コロナウイルス感染症対応の判断指標も特別警戒レベルに達したことから、中止を決定した。 ・令和2年12月28日から令和3年1月11日まで南国市役所庁舎玄関前2か所にフォトスポットを設置し、令和3年1月8日には新成人宛てに記念品、なんこくプレミアム商品券等を発送した。 <p>新成人の帰省に対しての影響も考え、早急に中止の発表（12月14日付）を行ったが、大きな混乱等は起きていない。</p>
			●											
<p>楽しい生きがいきづくり講座</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>							●	○					<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間を通じ、文化講座（25講座）として「NPO法人まほろばクラブ南国」に事業委託をしている。 ○高校・大学との連携事業として、高知東工業高校・高知高専と共に教養講座を実施している。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高知東工業高校の教養講座は中止した。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化講座は、約230名の市民の方が受講し高評価であるが、マンネリ化しないよう事業内容の精査が必要である。 ・教養講座は市と学校が協定を結んでいることもあり、学校連携事業として今後も実施を続けていきたい。
		●	○											
<p>高齢者教室事業</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>							●	○					<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○65歳以上の南国市民を対象に教室生として公募し、市内8教室で年10回ずつ開催している。 ○健康教室や歴史教室・環境問題・交通安全など、様々な学習をしている。移動教室等、高齢者にとって楽しみや生きがいとなっている。 ○令和2年度は、8教室で合計494名の学級生がいる。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教室において学級長・会計等の役職を置くことにより、一定自主運営ができ市と連携を通した活動が可能となっている。
		●	○											

③人権尊重の理念の普及
・高揚を図るための啓
発事業の充実

人権啓発事業

成 果 度 ↑	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→重要度

【取組内容】

○スマイリーハート人権講座（高知県人権啓発活動委託事業）
○全4回の講座の実施（10月）により啓発を図った。参加者延べ164名。アンケートによると、満足度は87.57%。（なお、うち2講座は男女共同参画の内容とした）
○広報・人権学習シリーズの掲載では、人権啓発広報委員会の委員5名が交代で執筆を担当し、人権について様々なテーマで800字程度のコラムを、広報なんこくに隔月掲載した。12月号には、「新型コロナウィルスと人権」について見開き2ページの人権特集を掲載した。その他、7月に人権パネル展を開催し、年末には高知県人権啓発活動委託事業として、人権カレンダーを作成・配布を実施した。

【自己点検】

・高知県では高知県人権施策基本方針第2次改定版の基本方針の中で、10の人権課題に「性的指向・性自認」を加え、11の人権課題について具体的な人権教育・啓発の取り組みについて示していることから、南国市でも様々な人権のテーマについてスマイリーハート人権講座で取り上げた。受講者からは「大事な人権問題であることをあらためて認識できた」、「すべての人に理解ある対応ができるよう、今後も勉強していきたい」など前向きな感想が多く、満足度も高かったことから、理解を深めるために今後も継続したい。

男女共同参画推進事業

成 果 度 ↑	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→重要度

【取組内容】

○南国市男女共同参画推進計画の一環として各事業を実施した。
○スマイリーハート人権講座（全4講座）において、2講座で男女共同参画の視点に立ったテーマ設定を行い、啓発に努めた。
○市内小学校5校で男女共同参画推進出前教室を行い、高学年向けに初めて触れる「男女共同参画」について、男女共同参画の視点を持たないと見過ごされてしまうような例を挙げ、自分らしくいることの大切さを伝えた。
○広報2月号には、今年度の南国市による男女共同参画推進のための取り組みについて、見開き2ページの特集を掲載した。

【自己点検】

・南国市生涯学習課の職員が講師となり、小学校で出前教室を実施した。子どもたちは「市役所の人に来てくれた」と喜んでくれたことから、市役所が身近な存在に感じてくれたのではないかと。また、性別に関係なく、自分らしく生きていくことの大切さを伝える内容にしたことから、出前教室後のアンケートで「本当の性を知ったからこそ友達としてあり続けるべきだと思いました」と書いてくれた児童もあり、出前教室を実施した意義を感じることができた。今後も、すべての子どもたちが自分らしくいきいきのびのび生きていけるよう、力を注ぎたい。

④魅力あふれる市民スポーツの振興

市民体育大会

市民体育大会

成 果 度 ↑	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→重要度

【取組内容】

○第58回市民体育大会を、新型コロナウイルス感染症対策として小中学生が出場する5種目の中止及び会場施設の人数制限を設けて、7月5日～11月3日の間、10種目、延べ670名が参加して実施した。

【自己点検】

・今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止としたが、小中学生が出場できる種目もあり、対策を講じつつ広報などを通じて今後も参加を広く呼びかけることにより、成長過程にある少年競技の競技力の向上と子供たちの意欲の向上につながるよう引き続き取り組んでいく。近年、生涯スポーツに対する市民の意識は高まっており、今後もスポーツの裾野を広げるために、スポーツ協会と協働し、今後も初心者でも気軽に参加できるスポーツフェア的な大会として展開していきたい。

スポーツ推進委員連絡協議会等と連携したニュースポーツ及び生涯スポーツの普及・総合型スポーツクラブとの協働

成 果 度 ↑	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→重要度

【取組内容】

○例年開催しているイベントとして「さわやか健康ウォーキング大会」については開催（10月11日 参加：12チーム45名）したが、「スポーツフェスティバル」（2月）については新型コロナウイルス感染症の状況から中止とした。

○総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」に南国市スポーツ推進委員連絡協議会会長が理事として参加し、組織としてイベントに積極的に協力している。生涯スポーツのコーディネーターであるスポーツ推進委員は、総合型クラブにおいて中心的役割を占めており、今後も情報の共有化を図る事が大切である。

○総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」は、南国市スポーツ協会や南国市スポーツ推進委員連絡協議会等の協力を得て、市民や地域に活動の輪を広げている。新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度末から休止となったサークル等もあり、令和2年12月28日現在、昨年と同数の53サークル、会員数は100名減の920名となっている。

【自己点検】

・平成30年度から引き続き、第2期高知県スポーツ推進計画の施策の柱の1つであるスポーツ参加の拡大のための地域スポーツハブの取り組みを開始している。誰もが気軽にスポーツを楽しむことができることを目的とした生涯スポーツの普及と振興のため、総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」を核として、スポーツや福祉関係団体等が連携し、スポーツに関する情報の一元化や提供などを行うことにより、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。今年度はコロナ禍の中でも感染症対策を取りながら、複数のイベントを開催した。今後も教育委員会との連携した取組が重要である。

<p>スポーツ協会との連携による競技スポーツの振興と競技力の向上</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="797 65 949 244"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>												●					<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高知県予選を経て全国大会に挑む団体（一般・少年）に対し、全国大会参加補助金を助成している。 ○例年開催の小学生駅伝競走大会（11月）及び南国市駅伝競走大会（2月）は中止。 ○その他、各連盟と連携して大会を開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、高知県勤労者剣道大会、高知県柔道大会は中止となり、市長杯小学生野球大会（参加：6チーム）のみの開催となった。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市における競技スポーツの振興と競技力向上において、全国スポーツ大会参加補助金の助成や競技大会の定期的な開催は、選手の目標となり、励みにもなるので継続的な取組は必要と考える。
			●															
<p>⑤地域における青少年健全育成活動</p> <p>補導活動</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="797 456 949 635"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>												●					<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間を通じて登下校の時間帯に合わせて青色回転灯パトロールカーで各校区を巡回し、児童・生徒等への声かけを行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業期間中や夏休み期間中には子ども達の生活環境の変化に注意をし、パトロールを強化した。学校等から喫煙や怠学等の連絡があれば、その都度関係機関と連絡を取り合い対応した。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒への青色回転灯パトロールカーの認識度は上がっており、今後も巡回パトロール等継続した活動を行っていく。
			●															
<p>相談活動</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="797 753 949 932"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>●</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>										●		○					<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉事務所こども相談係や警察等関係機関と情報共有を図りながら業務にあたった。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉事務所こども相談係が相談窓口となることがほとんどではあったが、今後も情報共有を図り、問題解決への道筋をつけていくことは重要である。
	●		○															

<p>環境浄化活動</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>										●											<p>【取組内容】</p> <p>○市内に5ヶ所設置されている「白いポスト」に投函された有害図書及び有害ビデオ・DVD等の回収（有害図書166冊、有害ビデオ・DVD128点・11月末日現在）を行った。また、市内にある地下道等が落書きや溜まり場になっていないか巡回パトロールを実施した。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・有害図書等を青少年の目に触れさせないためにも、白いポストの設置個所を広報等で周知するとともに、市内を定期的に巡回し、子ども達に悪影響を与えるものについては関係機関と連携しながら排除していく活動を継続して行う。</p> <p>し、子ども達に悪影響を与えるものについては関係機関と連携しながら排除していく活動を継続して行う。</p>
				●																		
<p>調査研究活動</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>								●	○												<p>【取組内容】</p> <p>○今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から一堂に会しての主要な協議会・研修会等の開催が中止となる場合もあったが、数少ない協議会・研修会や書面会議等報告資料において子ども達の健全育成及び非行防止についての理解を深めた。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・他市町村や関係機関等の取り組みや活動内容を共有することで、本市における子ども達の健全育成や非行防止に資する活動ができると思う。</p>
		●	○																			
<p>広報活動</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>										●											<p>【取組内容】</p> <p>○年末非行防止街頭啓発活動（12月1日：参加者48名）を市内量販店において実施。南国警察署や補導委員等が子ども達の健全育成・非行防止についての啓発資材を市民に配布し、健全育成・非行防止の協力を求めた。また、南国市更生保護女性会と合同で青色回転灯パトロール車により市内を巡回し、下校時の子ども達の見守りを行った。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・子ども達の健全育成・非行防止を広報・啓発することで、地域ぐるみでの見守り活動等につなげるためにも当活動は今後も継続していく。</p>
				●																		
<p>健全育成活動</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p>															●						<p>【取組内容】</p> <p>○毎年9月に開催している南国市青少年健全育成大会や年間を通して開催される南国市子ども会連合会の行事がすべて新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <p>【自己点検】</p> <p>・青少年健全育成大会は児童生徒が日頃感じたこと、思ったことを発表する場として定着している。また、来場者もその発表に感動し、今の子ども達についての現状を知る良い機会となっている。南国市子ども会連合会の行事は連合会に加盟する小学校は少なくなっているものの、行事には例年多くの参加があり、子ども間同士や親子の交流に寄与していることから今後も活動継続は大切であると思う。</p>
				●																		

<p>⑥心を育む読書活動の推進、住民の求める情報の提供</p>	<p>図書館活動</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td>●</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p style="text-align: right;">→重要度</p>								●									<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症に関連する資料等、市民の安全・安心に役立つ資料提供の充実に努めた。 ○第12回図書館まつり（10月27日～11月8日）を開催し、本の福袋やスペシャルおはなし会など、幅広い世代が本に親しめる企画を実施した。 ○「保育学校支援図書貸出事業」や出張おはなし会により、未就学児童施設や学校への支援を行った。また、児童サービスに携わる司書の能力向上を図り、おはなし会の内容の充実に努めた。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童サービスを継続して実施し、内容の充実を図るとともに、幅広い世代に本に親しん幅広い世代に本に親しんでもらえるよう図書館サービスの充実に努めていく。
			●																
<p>⑦地域性豊かな市民文化の創造</p>	<p>美術展覧会開催</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td>●</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p style="text-align: right;">→重要度</p>								●									<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第60回南国市美術展覧会を12/6～13に実施し、一般の部は展示数190点、児童・幼児・生徒の部は展示数3,479点となり、入場者数4,084人であった。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の部において、展示作品に幅をもたせるために招待作品の展示案なども実行委員会で論議されるが、招待対象者や招待方法が具体的に決定できない等が課題となっている。また、大人と子どもの同時開催は県内でも珍しく、文化活動の拠点施設として令和4年開館予定の中央地域交流センター（仮称）も利活用していきたい。
			●																
	<p>文化財の保存、活用事業</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td>●</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p style="text-align: right;">→重要度</p>								●									<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財審議委員会を開催し、将来にわたって残すべき文化財の指定を行っている。 ○市内の指定文化財を年2回パトロールして、保存状態などを確認している。 ○指定文化財を訪れた人が分かりやすいように説明看板を設置し、適宜補修をしている。 ○文化財を広く知ってもらうために広報誌への掲載や、出版物を作成して配布や販売を行なっている。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の指定文化財をはじめとした各種文化財の保護・普及啓発のために継続して事業を行なっていく。
			●																
	<p>オナガドリ保護増殖事業</p>	<p>成果度 ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td>●</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p style="text-align: right;">→重要度</p>								●									<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国の補助事業を受け、種の保存と増殖に関わる研究や飼育者の負担を軽減するために飼料の配布事業を行っている。 ○パンフレットの配布や大篠オナガドリ保存会と協力して紹介などを行い、啓発普及するとともに新たな飼育者の募集を行っている。 ○オナガドリの飼育と保存のための協力謝金を給付している。 ○最良種の作出に寄与するため、DNAの解析成果をもとにした人工授精を行う。 ○鳥インフルエンザ発生予防対策として、消石灰・消毒液の配布を行い、家畜保健衛生所と連携を取りながら、注意喚起を行っている。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別天然記念物である土佐のオナガドリの保護・増殖のために継続して事業を行なっていく。
			●																

<p>市内遺跡発掘調査等事業</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="797 65 943 245"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●									<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種開発行為から市内の遺跡を保護するために、情報収集、事業者との協議、試掘確認調査、工事立会などを実施している。 ○市内の重要遺跡の範囲や内容を確認し、保存と将来の史跡整備に向けての資料の蓄積を行っている。調査成果は現地説明会の開催や発掘調査報告書の作成、広報誌への掲載等により広く伝える手段を講じている。 ○史跡土佐国分寺の寺域を確認し、将来の追加指定を目指すために、県内外の有識者による土佐国分寺跡調査指導委員会を設置し、委員会に基づいて試掘確認調査を実施した。 <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に数多く残されている遺跡の保護と開発事業との調整を図るために継続して事業を行なっていく。
			●															
<p>文化財講座の開催</p>	<p>成 果 度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="797 456 943 636"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>●</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>							●	○									<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史学講座：本年度は、『土佐の戦国 野市・芸西の抗争』をテーマとして講座を開催し、安芸市・香南市に関する史跡学習を行った。（参加者12名）最終回には各地区城跡・古戦場跡等、ゆかりの史跡を訪ねるフィールドワークを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる。 ○郷土学講座：中止。 <p>文化財についての興味関心を育てるとともに、知識を得る場としてフィールドワークも兼ね、6月に行う予定だったが新型コロナウイルス感染状況により中止となる。</p> <p>【自己点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化財の最新の研究成果を広く市民に伝え、文化財への興味・関心を育むために継続して事業を行なっていく。
		●	○															